

# 辰野町 議会だより



第44号  
平成24年(2012年)  
2月1日

辰の年 平穏無事を祈って



龍ヶ崎城跡(宮所)より見る御来光

## 12月定例会

- 総務産業常任委員会活動から  
.....P2~3
- 1月臨時議会報告.....P3
- 福祉教育常任委員会活動から  
.....P4
- 議会を傍聴して.....P4
- 付録：議会報告会アンケート結果



どんど焼き

## 委員会活動から

# 総務産業常任委員会

- 条例審査
- 陳情・請願審査



### ● 条例審査

■辰野町有線放送施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本議案は、平成24年2月から有線放送電話を地域情報告知システムに更新する事に伴い、関係条例の一部を改正したいとするものです。先ず説明では事前に出していただいた質問事項についての説明がありました。

①役場配信端末から加入者宅に至る「ほたるねっと」システム系統及びほたるチャンネル・メールとの連携については、系統図での説明を受けました。



②申込状況は12月12日現在2582件です。

③新規加入者負担金の1台につき1万円とした事は、審議会の中で、決められました。

委員からは町内全域カバー出来るシステムであり、加えて緊急・防災情報も伝達される事から、全家庭加入に向けた取組を望み、全員一致で可と決しました。

### ● 陳情・請願審査

■国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める陳情

陳情者  
上伊那民主商工会  
会長 滝沢 孝夫

この陳情は、国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求めるとした陳情です。

委員からは、①消費税増税は東北の人々にも一様に負担が増すものである。

②行財政改革などもっと先にやらなければならぬ

事があるため、増税にはあくまでも反対である。

③今は増税に踏み切るべきでは無いが、益々膨れ上がる介護費などのためにはいづれ増税も必要だろう。

④現時点増税には反対であるが、次第に国の方針もある程度見えて来るだろう事から、検討すべきである。

などの意見が出され、委員会においては採決の結果、継続審査5・採択1、で継続審査と決し、本会議においては委員長報告のとおり継続審査となりました。

■県に対し、住宅リフォーム助成制度創設の意見書を提出することを求める陳情

陳情者  
上伊那民主商工会  
会長 滝沢 孝夫

この陳情は、県に対し、住宅リフォーム助成制度の創設を求めるとした陳情です。

担当課長から、23年度当町は2回の補正800万円で1億2千万円の経済効果

の見込み、近隣市町村の補助の状況及び次年度予定などの説明がなされました。

①個人資産への支援であり資産の増加に繋がる事は、公平性の観点からはいかなるものか。

②県議会で審議されていない事案について、県へ陳情するといった事は現状にそぐわない。

③仮にこの制度が実施された場合、対象業者は県下全域となり町内業者の仕事に繋がるかが疑問である。

④景気浮揚策の観点から趣旨は理解できる。といった意見などが出され、全員一致で趣旨採択と決し、本会議においては委員長報告のとおり趣旨採択となりました。





■ TPP（環太平洋連携協定）交渉参加への反対を求める請願

請願者  
上伊那農業協同組合  
組合長理事 宮下 勝義  
上伊那農政対策委員会  
委員長 宮下 勝義  
紹介議員 三堀 善業

■ TPP参加に向けた協議の中止を求める陳情

陳情者  
上伊那農民組合  
代表 竹上 一彦

両請願・陳情とも、TPPへの参加に向けた協議の中止、あるいは交渉参加への反対を求める内容であることから、2件を一括審議しました。

請願については紹介議員から説明がなされました。委員からは、

- ① 農業問題についてはある程度資料が出回っているものの、医療・保険・雇用・金融などについての資料は乏しく、課題が明確でない現在においては賛否の判断は出来ない。
- ② TPPのメリット・デメリットが明確に説明され

ていない現段階では、拙速な参加表明をすべきではない。

③ 工業関係は交渉参加に向きであるが、それは大企業であつて、日本の大半を占める中小企業は、この先がどうなるか見えない現状では、交渉参加には反対である。

などの意見が出され委員全員一致で採択に決しました。本会議においても委員長報告のとおり全員一致にて採択となりました。

採択された請願陳情については、議員発議により提出された意見書が可決され、国会・関係行政庁に提出されました。



環太平洋連携協定（TPP）への拙速な交渉参加反対を求める意見書

野田首相は、11月12日の日米首脳会談、13日のアジア太平洋経済協力会議（APEC）において、TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入るとの方針を表明しました。

TPPは、残された重要品目（米・畜産・酪農等）の関税撤廃の例外措置を認めない協定であり、農林漁業をはじめとする地域経済・社会への影響、ましてや中山間地域を含む我が地域への影響は計り知れません。

さらに、TPPは21分野で協議が進められており、我が国の誇る医療制度をはじめ、雇用・食品の安全性・金融や知的財産など様々な分野で影響を及ぼす問題であります。政府の情報開示や説明不足の姿勢に多くの国民が不信・不満をもっています。国民の食と暮らし・いのちを脅かし、国のかたちを一変させるTPP交渉への拙速な参加はしないよう強く要請します。

記

1、十分に議論を尽くし国民的合意が得られるまで、拙速な参加表明を行わないこと。

2、全産業分野のメリット、デメリットについて、国会等で慎重に審議するとともに、国民に対し分かりやすく詳細な情報提供を行うこと。

3、今後の国際貿易交渉に当たっては、わが国の食糧安全保障の確保を図ることを基本に、食の安全・安定供給、食糧自給率の向上、国内農業・農村の将来にわたる安定性の確立と振興等を損なうことのないよう対応すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

国会議長・大臣あて  
長野県辰野町議会

1月臨時議会報告

平成23年度一般会計、特別会計の補正予算、損害賠償の責を負う案件など11議案を審議、いずれも原案通り可決しました。

一般会計補正予算は防災行政無線施設デジタル化工事費1億4000万円、貸し出し用AED（自動体外式除細動器）2台購入、全額県費補助の認知症高齢者グループホーム防災改修補助金など、総額約1億5500万円の追加補正でありました。

議員より貸し出し用AED設置場所の質問に対して、24時間職員が常駐している消防署に設置するとの事

そのほか、上水道、辰野病院事業会計、公共下水道など7つの特別会計は、国民年金法一部改正による共済組合負担金増額の追加補正でした。

町が損害賠償の責を負う案件は、賠償額50万円以上で議会の議決を要するものは2件でありました。

### 委員会活動から

# 福祉教育常任委員会

- 委員会研修
- 現場視察



## 福祉教育委員会研修

### ◎後期高齢者広域連合報告

12月12日、後期高齢者広域連合議会議員でもある根橋俊夫議員より、後期高齢者一般会計決算報告と後期高齢者医療特別会計の2点について報告があり、特に長寿健康増進事業の人間ドック受診費用助成事業や肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成事業については、県下77市町村の内56の市町村がいずれかの助成事業に取り組んでいるとの報告でした。

### ◎辰野病院におけるインシ

デント（ヒヤリハット）の発件数について

前回審査の中でも意見があったため報告を受けました。発生状況は22年153件、23年9月末で72件発生しておりほぼ前年と同数との報告でありました。

このことについて病院内では、宮永医師を委員長とした医療安全委員会を毎月開催し、報告を受けると共に改善に向け全員精力的に取り組んでいるとの事です。

## ◎辰野総合病院整備事業 現場視察

視察に先立ち概要について病院事務長より、又建設現場の説明は㈱ヤマウラの加々見主任より受けた後、視察を実施。12月現在30%の進捗状況で、ほぼ予定どおり順調に進んでおり、12月末までには3階までコンクリートの打ち込みが終わるとの報告でした。この厳寒の時期での打ち込みに対して懸念の質問では、表面の養生などにて問題無いとのことでした。建物周辺からの見学でしたが、建物の大きさに圧倒され完成が楽しみです。患者に優しい施設に考慮し存在意義を再認識すると同時に、無事の完成を祈念いたしました。



## 町民の声

### 議会傍聴をして想うこと



外戸 明

(外戸人材育成研究所)

昨年の12月議会定例会の一般質問2日間、質問に立たれた11議員すべての質疑を傍聴させていただきました。広報編集委員の方から議会傍聴の所感を忌憚無く述べて欲しいと依頼されましたので、議員各位日頃の傍聴所感を述べます。

1. 議員各位の質問力に温度差を感じる。私の質問の基本は、「具体的かつ本質的」と考えます。例えば本に対する質問ならば、「読書をどう考えますか?」と聞くのではなく「小学生にすすめたい本3冊あげるとき、どんな本を選びますか?」と聞けば、具体的な答えが得られると思います。

2. 街を活性化する「手品」はなく、お金は有限。知恵と研鑽は無限で、「街づくり」で組織として日本最高賞受賞、佐久市岩村田、阿部真一氏による街の活性化プロセスをまなぶことはひとつのヒントと考えます。

## 編集後記

第一回議会報告会が開催されました。議会基本条例により初めて開かれたものです。出席された68名の内56名よりアンケートの回答を頂きました。その集計結果で「満足」から「やや満足」までを含めますと71%になりました。「不満」の理由が多かったのは、配布資料が無く分りづらかった、とのこと。また、一般の方の参加者が少ないとの指摘もありました。開催回数については、「年2回」が55%となりました。この結果を参考にし分かりやすい充実した報告会にしていくよう努めてまいります。次回議会報告会には大勢の方々の参加をお願い致します。

議会広報委員会